



昭和32年、日本銀行から外務省に転じ、戦後は実業家として活躍した岡崎嘉平太が、貯蓄増強中央委員会の第4代会長に就任。新聞広告や、各地で座談会や講演会を行うなど、大掛かりな広報宣伝活動を行いました。「できるだけ地方に出かけて、貯蓄を実行している人々に会って激励し、(…中略…)ほかで効果をあげている貯蓄実践の例とか、外国の例とかを伝えて、(…中略…)いろいろな職場に、それぞれ貯蓄の実績があがるようにしたい」(日本経済新聞「わたしの履歴書」)と、自らが全国に向けて“わらじばき”の貯蓄運動を実践。直接、人々の貯蓄意識を高めることに重点が置かれており、このポスターでもそうした願いが込められています。